

広報ふたば



【表紙写真】 希望の灯火をつなぐ・・・



(東京2020オリンピック聖火リレー)

町民の皆さまへ

新緑が目には鮮やかな5月を迎えました。いわき事務所前のハナミズキも満開を迎え例年より季節が早く進んでいるように感じます。そのような中、新型コロナウイルス感染症が未だに収束の見通しが立たず、ウイルスの変異株による感染が急速に広がっており、「まん延防止重点措置」の適用都市が拡大するなど予断を許さない状況にあります。予防対策としてのワクチン接種については、医療従事者への先行接種、4月には65歳以上の高齢者基礎疾患のある方などを優先に行い、続いて一般の方への接種の予定が示されており、全町避難が続いている双葉町については、避難先の自治体での接種となりますので、随時、町民の皆さんに情報を提供し、速やかにワクチン接種ができるよう全力を尽くしてまいりますので、ご家庭においても引き続きマスクの着用、手洗い、うがいの励行など感染防止対策をお願いいたします。

さて、3月25日には、JR双葉駅前において1年延期となった東京2020オリンピックの聖火リレーが行われました。大橋良一加須市長はじめ来賓の方々のご臨席のもと、標葉せんだん太鼓の勇壮な演奏の中、3人のランナーによって聖火の希望の灯りが繋げられました。新年度のスタートとなる4月1日にはいわき事務所において職員辞令交付式を行いました。新規採用職員3名、農林水産省より1名、福島県より2名の派遣職員が加わり業務を開始しました。さらに、町の現状をご理解いただき、今年度も引き続き神奈川県、新潟県柏

崎市、福井県敦賀市、茨城県北茨城市、新たに茨城県東海村、宮城県女川町から、町の復興・復興と町民の皆さんの生活支援などの課題解決のために6名の職員を派遣していただきました。改めて厚く御礼を申し上げます。また、以前支援職員として勤務していた富山県黒部市職員で双葉町の復興のために働きたいとの強い思いから、新たに双葉町職員となった方もおり、このようなご縁に感謝するとともに大変心強く思っているところです。

職員に対しては、来年春頃の双葉町特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除と町への帰還開始という目標に向けて町民の思いを胸に、チーム双葉となって町の復興に取り組むよう訓示しました。

双葉町産業交流センターにおいて、4月14日には、長野県千曲市に本社のある衣類の製造・販売等の事業を展開するフレックスジャパン株式会社、4月26日には、京都府京都市に本社のあるドロインの販売、保守・メンテナンス等の事業を展開する株式会社World Link & Companyと、中野地区復興産業拠点への立地協定を締結しました。新たな企業が進出することで、雇用の創出につながると期待しております。中野地区への立地企業は19件、24社となりました。

新年度は、昨年度に続きコロナ禍の中でスタートとなりましたが、来年春頃に町への帰還を目指す双葉町にとっては復興へのスピードを緩めることなく、しっかりと各種事業に取り組んでまいりますので町民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

フレックスジャパン株式会社と、中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結いたしました ～衣類の再生によりSDGsを実現～

4月14日、双葉町産業交流センターにおいてフレックスジャパン株式会社と中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結いたしました。町内で立地協定締結式を行うのは初めてです。

今回の協定に基づき、拠点内において衣類の修理・再生等の工房が令和4年秋頃に整備される予定です。双葉町内では既存の衣料の販売のほか、「SDGs（持続可能な開発目標の略称）の達成に寄与する衣類の修理等」の事業が展開されます。フレックスジャパン株式会社の矢島隆生代表取締役社長は「双葉町との出会いがきっかけで新事業に向けて踏み出すことができた。遺品のリメイクなど思い出の復興事業に取り組みたい」と述べられ、伊澤史朗町長は「再生していく双葉町から衣類の再生を世界に発信していただきたい」と期待を込めて歓迎しました。

フレックスジャパン株式会社

- 所在地 … 長野県千曲市大字屋代2451番地
- 総業 … 1940年5月
- 代表者 … 代表取締役 矢島 隆生
- 当地で行う事業 … 衣類（既存商品）の販売、SDGsの達成に寄与する衣類の修理、補正、再生、再利用加工等



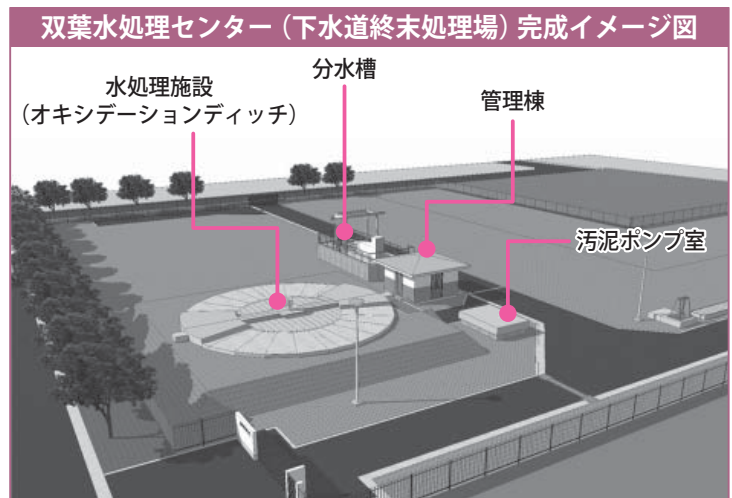
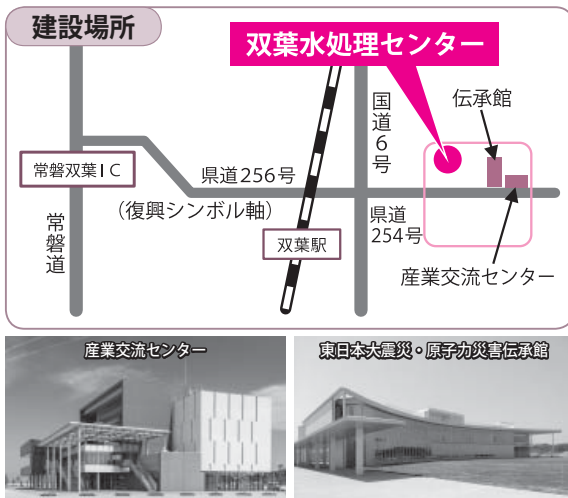
双葉水処理センター（公共下水道終末処理場）の建設に着手します！

この度、公共下水道の終末処理場である「双葉水処理センター」を新たに中野地区復興産業拠点内に建設します。この処理場は東日本大震災で被災した旧処理場（双葉町浄化センター）に代わり、令和4年春頃を目標としている特定復興再生拠点区域内の避難指示解除にあわせ、下水道の安定した処理を行うために建設されるものです。

建設される場所は、双葉町の復興をけん引する中野地区復興産業拠点内の双葉町大字中野字竹ノ花地内で、拠点の中核となる施設「双葉町産業交流センター（略称：F-BICC）」や東日本大震災・原子力災害伝承館、復興祈念公園も隣接しております。

令和3年3月に、建設工事委託協定を締結している地方共同法人日本下水道事業団と施工受注者（前田建設工業株式会社）との間で工事請負契約が締結され、令和3年5月頃から着工し、完成は令和4年春頃を見込んでおります。

なお、水処理施設工事（機械及び電気設備工事）も令和3年4月に発注する予定です。



詳しくは双葉町公式ホームページをご覧ください。

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/9391.htm>

【問い合わせ先】 建設課 ☎ 0246-84-5209



町内視察が行われました

4月5日…公明党
地球温暖化対策推進本部



4月12日…自民党
東日本大震災復興加速化本部

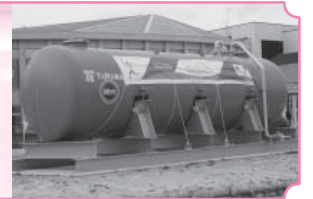


4月14日…新潟県柏崎市
櫻井雅浩市長





東京2020オリンピック 双葉町聖火リレー



3月25日、1年延期となっていた東京2020オリンピック双葉町聖火リレーがJR双葉駅前広場で開催されました。多くの観客が応援旗を手に見守る中、3人のランナーと8人のサポートランナーが無事に聖火を繋ぎました。

双葉町スポーツ推進委員や双葉ふれあいクラブの皆さんの協力の下、新型コロナウイルス感染症対策が徹底された中で開催され、第一走者のスタートを知らせる標葉せんだん太鼓の演奏や、記念式典でのコーラスふたばの皆さんの歌声が双葉の空に響き渡りました。

記念式典後、モニュメントの除幕式が行われました。聖火ランナーとサポートランナーの名前が刻まれたモニュメントは、双葉駅東口の駅前広場に設置されています。



▲ 第一走者 桜庭 梨那さん



▲ 第二走者 井戸川 俊さん



▲ 第三走者 板倉 香奈さん



▲ サポートランナーの皆さんと一緒にゴール



▲ 点火



▲ 第一走者から第二走者へ



▲ 第二走者から第三走者へ



▲ 聖火は大熊町へと繋がりました





サポートランナーのご家族も応援にかけつけました



▲伴走するサポートランナーの皆さん



記念式典・聖火リレーモニュメント除幕式

友好都市・埼玉県加須市長にご臨席いただきました



◀ 記念式典で国歌と双葉町民の歌を斉唱したコーラスふたばの皆さん



◀ 力強い演奏で聖火リレーやモニュメント除幕式を盛り上げた標葉せんだん太鼓保存会の皆さん



▲ 大橋良一 加須市長よりご祝辞をいただきました

友好町・京都府京丹波町の
太田昇町長から祝電を
いただきました



▲ モニュメント除幕式で、サポートランナーの皆さんと記念撮影



▲ モニュメント除幕式の様子



◀ 同日、大橋加須市長は双葉駅西側地区や双葉町産業交流センター等を視察されました

令和3年度の当初予算が決まりました

歳入 344億円

繰入金
156億
3,475万
5千円
45.4%

自主財源
49・4
%

町税 10億4,995万5千円
(3.1%)

繰越金 1億円
(0.3%)

その他①
(0.6%)

依存財源
50・6
%

国庫支出金
117億
2,257万
4千円
34.1%

県支出金
14億8,656万2千円
(4.3%)

地方消費税交付金
1億2,730万4千円
(0.4%)

地方交付税
40億3,391万
8千円
11.7%

その他②
(0.1%)

諸収入
雑入などその他様々な収入
使用料及び手数料
住民票などの交付のために手
数料として支払われるお金

財産収入
町が持つ財産を運用したり売
却するなどして得られるお金

各種交付金
所得税や自動車取得税など国
や県から配分されるお金

地方交付税
全国一律の行政サービスが受
けられるように、国税の一部
を一定の基準により交付され
るお金

繰越金
前年度から繰り越されるお金

国庫・県支出金
町が行う特定の目的の事業の
ために、国や県から交付され
るお金

繰入金
一般会計と特別会計、基金間
などの会計間で移動するお金

町税
町民税や固定資産税など、皆
さんから納められる税金

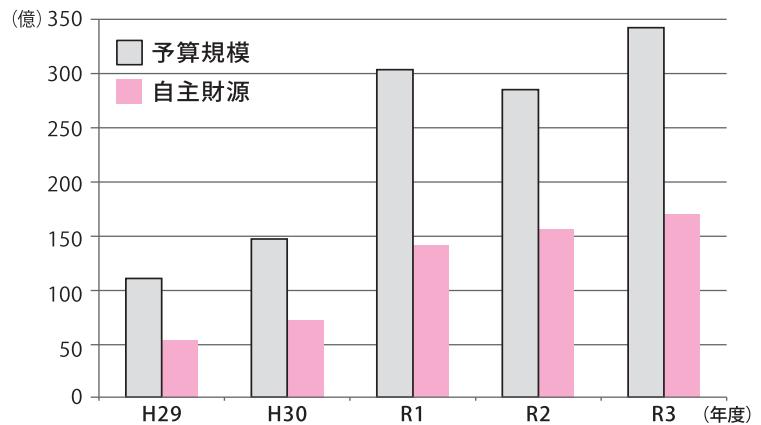
依存財源
国や県の意思で定められた額
を交付されたり割り当てられ
る財源

自主財源
町税や手数料など、町が自ら
の収入とすることができる
財源

歳入
1年間のすべての収入のこと

用語の解説

一般会計当初予算規模の推移



その他の内訳①

諸収入	8,893万3千円
使用料及び手数料	6,569万円
財産収入	3,933万5千円
寄附金	1,200万5千円
分担金及び負担金	9千円
計	2億597万2千円 (0.6%)

その他の内訳②

地方譲与税	3,704万7千円
配当割交付金	69万円
地方特例交付金	50万円
交通安全対策特別交付金	25万円
利子割交付金	17万2千円
株式等譲渡所得割交付金	10万円
法人事業税交付金	10万円
環境性能割交付金	10万円
自動車取得税交付金	1千円
計	3,896万円 (0.1%)

一般会計当初予算額は前年度対比57億6千万円（20.1%）増の344億円となりました。

国民健康保険特別会計などの5特別会計の予算額が43億6,212万3千円となり、一般会計と特別会計の総額は、387億6,212万3千円となりました。

令和3年度双葉町特別会計当初予算

会 計	本年度予算額	前年度予算額	差 額	比 較
国民健康保険特別会計	12億8,103万9千円	13億4,307万7千円	▲6,203万8千円	▲4.6%
公有林整備事業特別会計	223万円	296万9千円	▲73万9千円	▲24.8%
公共下水道事業特別会計	19億993万円	7億1,960万5千円	11億9,032万5千円	165.4%
介護保険特別会計	10億8,024万7千円	10億7,013万4千円	1,011万3千円	0.9%
後期高齢者医療特別会計	8,867万7千円	9,103万6千円	▲235万9千円	▲2.6%
計	43億6,212万3千円	32億2,682万1千円	11億3,530万2千円	35.2%

歳出
344億円

総務費
134億
9,481万
8千円
39.2%

諸支出金
106億61万
9千円
30.8%

民生費
59億4,598万
5千円
17.3%

4.5%

地方消費税交付金（社会保障財源分）の 使途について

平成26年度以降において消費税率が引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その使途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てることとされています。

令和3年度双葉町一般会計予算における社会保障施策関連経費への充当は、社会福祉事業29,120千円、社会保険事業27,811千円、保健衛生事業12,155千円の予定となっております。

土木費 15億3,830万8千円
(4.5%)

衛生費 5億8,964万6千円
(1.7%)

農林水産業費 5億4,165万2千円
(1.6%)

災害復旧費 4億6,387万9千円
(1.3%)

教育費 3億2,799万3千円
(1.0%)

商工費 2億8,872万8千円
(0.8%)

消防費 2億1,147万2千円
(0.6%)

その他 3億9,690万円
(1.2%)

〔内訳〕 公債費 2億302万6千円
予備費 1億3,461万5千円
議会費 5,924万9千円
労働費 1万円

歳出
1年間のすべての支出のこと

議会費
議会の活動に要する経費

総務費
人事、財政、企画、戸籍など
他部門に分類されない事業に
要する経費

民生費
社会福祉、児童福祉、高齢者
福祉、障害者福祉、災害援助
などの事業に要する経費

衛生費
保健衛生、母子保健、公害対
策などの事業に要する経費

農林水産業費
農業、林業の振興などの事業
に要する経費

商工費
商工業、観光の振興などの事
業に要する経費

土木費
道路維持・整備、都市計画事
業などに要する経費

消防費
消防、防災事業などに要する
経費

教育費
学校教育、生涯学習、スポー
ツ振興などの事業に要する
経費

災害復旧費
大雨、地震などの災害によつ
て生じた被害の復旧に要する
経費

公債費
地方公共団体の借入金の元金
及び利子を支払うための経費

諸支出金
基金の利子などを積み立てる
ための経費

主要事業について

インフラ整備

仮設庁舎整備事業 …………… 6億5,105万6千円
 IRU光ファイバーケーブル新設事業 … 3,260万円
 中田・観音堂線整備事業 …………… 2,000万円
 前田・長塚線整備事業 …………… 2,839万3千円



交流支援

公共交通運行事業 …………… 5,775万円



心の復興事業補助金事業 …………… 1,750万円
 行政区総会開催助成金事業 …………… 119万円
 敬老会事業 …………… 560万7千円
 町民交流施設運営事業 …………… 1,459万円
 集まれふたばっ子事業 …………… 613万8千円

生活支援

新・双葉町生活サポート交付金事業
 …………… 31億8,737万1千円
 双葉町次世代支援補助金事業 …………… 2,655万円
 コミュニティ支援バス等運行事業 …… 1,444万円
 就園就学援助 …………… 5,048万7千円



健康・福祉

高齢者等サポート拠点設置事業 … 8,031万2千円



新型コロナウイルスワクチン接種対策事業
 …………… 3,758万8千円
 総合健康診査業務 …………… 2,337万6千円
 尿による内部被ばく検査業務 …………… 297万9千円
 甲状腺検査業務 …………… 126万8千円
 医療施設整備事業 …………… 3,041万5千円

令和3年度

農林業・商工

営農再開促進事業 …………… 1億9,286万3千円



営農再開支援水利施設等保全事業
…………… 4,612万5千円
農業基盤整備促進事業 …………… 8,256万円
企業誘致推進事業 …………… 3,480万8千円



産業交流センター維持運営事業 … 1億5,807万円
商業施設整備事業 …………… 1,768万2千円

中野地区・駅西地区拠点整備

中野地区復興産業拠点整備事業
…………… 40億3,744万6千円



双葉駅西地区住宅団地等整備事業
…………… 57億6,663万3千円
双葉駅西地区公営住宅整備事業
…………… 14億3,795万6千円



防犯防災・鳥獣被害対策

町内防犯・防災パトロール事業 … 5億9,600万円
町内戸別巡回事業 …………… 1億780万円
防犯・防災総合システム事業
…………… 1億6,196万1千円
消防施設整備事業 …………… 1,061万3千円
防災行政無線整備事業 …………… 1,800万円
帰還困難区域伐木除草事業 …………… 1億円
有害鳥獣捕獲事業 …………… 1,337万5千円





新消防団長辞令交付

4月2日、いわき事務所において、伊澤史朗町長から渡辺浩美さん（三字）に双葉町消防団長の辞令が交付されました。

渡辺さんは、昭和55年に双葉町消防団に入団し、第5分団長を経て副団長に就かれていました。「令和4年春頃の解除に向けて、避難している町民の安全、安心のために団員相互の連絡を取り合い消防活動に努めたい」と抱負を述べられました。

任期は、令和3年4月1日から令和7年3月31日までの4年間です。



団 長：渡辺 浩美（三字）

副団長：根本 英樹（下条）

訓練分団長：吉田 正志（浜野）

庶務分団長：松浦 雅治（鴻草）〈敬称略〉

令和2年度 第1回行政区長会

3月24日、双葉町いわき事務所において行政区長会が行われました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策で年度の始めから行政区長会の開催が見送られ、第1回の開催となりました。

はじめに伊澤史朗町長からのあいさつに続き、行政区長を代表して福岡涉一行政区長会会長（郡山行政区長）が「新型コロナウイルス感染症対策を講じて、行政区の行事開催は時期を遅らせるなど慎重に行ってほしい」とあいさつを述べられました。

会では、町職員から双葉町地区公民館、双葉駅西地区住宅団地等整備状況、令和3年度出荷制限等解除に向けた取り組み、双葉町津波ハザードマップ、新型コロナウイルス感染症にかかる予防接種、令和3年度行政組織の変更について説明があり、各行政区長と意見交換を行いました。





行政区長会 事務局
下条行政区長
さくもと しんいち
作本 信一さん
埼玉県加須市居住



行政区長会 会計
山田行政区長
やない みつる
箭内 充さん
いわき市居住



行政区長会 副会長
羽鳥行政区長
こはた としろう
木幡 敏郎さん
須賀川市居住



行政区長会 会長
郡山行政区長
ふくおか しょういち
福岡 渉一さん
いわき市居住



三字行政区長
いざわ かずお
伊澤 和夫さん
相馬市居住



細谷行政区長
たかしま まなぶ
高島 学さん
須賀川市居住



行政区長会 監事
長塚一行政区長
こわた のりきよ
木幡 智清さん
いわき市居住



行政区長会 監事
新山行政区長
えい としお
江井 俊雄さん
いわき市居住



渋川行政区長
にしお とみお
西尾 富雄さん
いわき市居住



寺松行政区長
いしだ よく
石田 翼さん
いわき市居住



下長塚行政区長
ふくだ たけお
福田 猛雄さん
相馬市居住



長塚二行政区長
むとう やすひろ
武藤 康広さん
南相馬市居住



石熊行政区長
やまもと ふみひこ
山本 文彦さん
南相馬市居住



浜野行政区長
たかくら いすけ
高倉 伊助さん
須賀川市居住



両竹行政区長
さとう たかし
佐藤 孝さん
いわき市居住



中田行政区長
いどがわ ひろゆき
井戸川 弘幸さん
いわき市居住



鴻草行政区長
いどがわ のりたか
井戸川 則隆さん
郡山市居住

行政区長紹介

※任期は、令和4年3月まで

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

2021年は、『新しい生活様式』をガイドラインとしながら、「ウィズ コロナ」のスタンスでコロナ禍に対応すると同時に、今までの知見を踏まえ、想像力を働かせて感染リスクの低減化を図っていかねばなりません。最近のニュース報道をみると感染拡大状況についてどこか他人任せのような気がしてなりません。目に見えないウイルスから人間の理性が問われているようにも思います。町立学校では、4月6日に、幼稚園の入園式及び小・中学校の入学式、始業式を終え、無事第1学期がスタートしました。多くの双葉町の園児、児童・生徒の皆さんも、それぞれの就園・就学先で夢と希望に胸を膨らませ、新生活を送っていることと思います。保護者の皆さま、そして家族の皆さまからの温かい励ましのお声掛けにより見守っていただきたいと思います。また、社会教育及び生涯学習に係る各自治会や婦人学級におきましても、新年度の組織並びに年間計画を策定され、心一つに活動がスタートいたしました。コロナ禍に負けない、安全・安心を第一に工夫された活動計画のもと、生涯学習・社会教育・学校教育に携わる人々が一体となって連携協力し、幼児期から義務教育、義務教育から生涯学習へと学びが連続的に繋がり充実するよう、教育委員会としましても、それぞれの場面でサポートしてまいりたいと思いますので、今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

双葉町立学校（幼小中）の教職員への講話

新年度がスタートした4月6日、町立学校仮設校舎において、幼小中の教職員32人を2班に分けて、『教育長講話』を行いました。東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所の事故から丸10年が経過し、「双葉町の現状と町立学校の役割」、そして「自然災害（緊急事態）への対応」及び「COVID-19の感染防止対策」について、次の視点で情報を共有しました。

I 双葉町の現状

- ① 現在も全町避難指示が継続している唯一の自治体
- ② 2022年春頃、特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除に向けて準備
 - 仮設役場庁舎を駅東に建設予定
 - 町民の帰町開始に向けた準備
 - 学校教育のニーズに対しては、区域外就学での対応

II 町立学校の役割

- ① 平成26年度に学校再開して8年目 → 幼小中42人でスタート
- ② 児童・生徒理解の徹底 → 管理職を中心に全教職員で対応
- ③ 少人数指導の良さとデメリットの把握 → 共通理解を図り組織的な指導
- ④ 開かれた学校（内にも外にも） → 幼小中の協力体制（報・連・相）

III 町立学校における自然災害（緊急事態）への対応 → 3.11の教訓 伝えるべき事

- ① 学校管理下におけるマニュアル並びにその他（週休日、早朝、深夜等）のケース
- ② 『命』を守る！ 正しい情報 → 早期判断 → 避難実施（自他共に安全確保）
- ③ 自然災害への備え → 家庭への啓もう（学校教育の役割、生き抜く力）

IV 新型コロナウイルス感染防止対策

- ① 基本的な感染防止対策の徹底
- ② 飛沫感染、接触感染のリスクを低減化する行動（想像力を働かせた生活スタイル）
- ③ 国、県、自治体からのガイドライン → 新しい知見等の理解・実践

双葉町立小・中学校教職員の人事異動のお知らせ

双葉町立小・中学校の先生方の人事異動がありましたので、お知らせいたします。

長年、本町の学校教育及び教育行政にご尽力いただきましたことに対しまして心より感謝申し上げます。

お世話になりました

＜双葉北小学校から退職・転出等される先生方＞ 敬称略

職 名	氏 名	退職・転出先等
教 諭	高野 正美	退職
教 諭	長谷川 俊	いわき市立中央台東小学校へ転出
栄養技師	安瀬 英未	郡山市立行健中学校へ転出
支 援 員	添田久美子	いわき市立泉北小学校へ転出

＜双葉南小学校から退職・転出等される先生方＞ 敬称略

職 名	氏 名	退職・転出先等
教 諭	大井 祐子	退職
養護教諭	猪狩 優子	退職（広野町立広野小学校に再任用）
講 師	伊達 香織	いわき市立湯本第一小学校へ転出

＜双葉中学校から退職・転出等される先生方＞ 敬称略

職 名	氏 名	退職・転出先等
校 長	西丸 賢	いわき市立中央台南中学校へ転出
教 頭	柳沼 敏文	川内村立川内小中学園校長に昇任
教 諭	蓬田 信裕	いわき市立上遠野中学校へ転出
主 査	遠藤美保子	退職

令和3年度 双葉町立幼稚園・小・中学校教職員

人事異動により、令和3年度の双葉町立幼稚園、小・中学校教職員が次のように配置されましたのでお知らせいたします。

＜ふたば幼稚園＞

職 名	氏 名	備 考
園 長	堀内 弘志	
副 園 長	佐藤 大志	
主任教諭	吉津 望美	
副主任教諭	山田 綾子	
事務補助員	加藤 真紀	給食運搬補助員兼務

＜双葉南小学校＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	松本美穂子	
教 頭	佐藤 大志	ふたば幼稚園副園長兼務
教 諭	吉田 智子	
教 諭	今泉 好子	
教 諭	菅原かおり	
教 諭	和泉 佳子	いわき市立泉小学校より転入
教 諭	津島 美里	いわき市立勿来第三小学校より転入
養護教諭	斉藤 智子	喜多方市立関柴小学校より転入
英語指導助手	フィリップ ジェリーマン	

＜双葉北小学校＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	松本美穂子	双葉南小学校校長兼務
教 頭	日下雄一郎	
教 諭	山野辺紋子	
教 諭	星 安璃彩	
教 諭	小野さゆり	いわき市立大野第二小学校より転入
教 諭	飯高 理洋	南相馬市立石神第二小学校より転入
養護教諭	永山 有美	
副 主 査	小沼 綾奈	
栄養技師		
支 援 員	鈴木 未央	
支 援 員	吉田亜希子	
支 援 員	山名佐稲子	



お世話になります

＜双葉中学校＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	大沼 俊之	いわき市教育委員会より昇任
教 頭	長谷川 淳	須賀川市立第一中学校より昇任
教 諭	伊藤 要子	
教 諭	小泉 尚久	
教 諭	菅野知加子	
教 諭	長埜 一弘	
教 諭	宮下絵里子	
教 諭	室井 知美	
教 諭	猪井 紀寿	
教 諭	根本 崇	富岡町立富岡第一中学校より再任用
講 師	菅波 匡崇	相馬市立中村第一中学校より転入
主 事	鈴木穂乃香	新採用
英語指導助手	アンソニー バラード	

＜1園3校共通＞

職 名	氏 名	備 考
スクール カウンセラー	比佐 淳一	
用 務 員	菊地 安	

双葉南・北小学校、双葉中学校 合同入学式



4月6日、町立小・中学校合同入学式が町立学校仮設校舎体育館で挙行されました。

双葉南小1人、双葉北小3人、双葉中学校1人の計5人の新入生は保護者や教職員、来賓、在校生が見守る中入場し、元気に新入生呼名を受けました。松本美穂子南・北小学校長は「元氣いっぱいあいさつをして、お友達と仲良く学校生活を送り、先生やお友達のお話を目と耳と心で聞いてください。中学生は沢山学んで生きる力を身に付け、輝く未来を自分の力で掴み取れるように力を付けてほしいです」と式辞を述べ、館下明夫教育委員会



教育長が教育委員会告辞を行い、伊澤史朗町長、伊藤哲雄町議会議長が祝辞を述べました。

続いて新入生を代表して井戸川侑翔さんが教科書並びに祝い品授受を受け、小学校在校生を代表して渡部咲さん、中学校在校生を代表して渡部勇さんが新入生に歓迎のことばを述べました。誓いのことばで中学生の草野稜介さんが夢に向かって邁進する決意を述べ、双葉中学校の伝統を守ることを誓いました。

今年度の町立学校は、南小学校児童が14人、北小学校児童が16人、双葉中学校の生徒が6人の計36人で新年度がスタートしました。



▲ 教科書並びに祝品授与



▲ 誓いのことば



▲ 新入生入場



▲ 在校生による歓迎のことば



あたたかいご支援をありがとうございます

3月22日、双葉警察署浪江分庁舎と浪江地区交通安全協会などの浪江地区交通3団体の方々より、ランドセルカバーや反射材グッズを贈呈いただきました。いただいた交通安全グッズは町立学校の児童・生徒の皆さんの交通安全に役立てています。



ご入園おめでとうございます



ふたば幼稚園入園式



4月6日、町立小・中学校の入学式のと、同敷地内にあるふたば幼稚園で入園式が行われました。

保護者、在園児、教職員、来賓が見守る中、新入園児はしっかりとした足取りで保護者と手を繋ぎ入場し、担任の先生から名前を呼ばれて元気に返事をしていました。

堀内弘志園長が「毎日元気にあいさつをしてふたば幼稚園に通ってください」と式辞を述べ、館下明夫教育委員会教育長が教育委員会告辞を、伊澤史朗町長、伊藤哲雄町議会議長が祝辞を述べました。



新入園児入場

新入園児は3歳児が3人、5歳児が1人で、在園児と合わせると6人で今年度の園生活を送ります。



令和3年度

双葉町幼稚園就園奨励費および給食費等補助制度について

双葉町では、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により被災した保護者の皆さまの経済的負担軽減のため、お子さんを幼稚園等に就園させている保護者の方に対して、入園料と保育料および給食費と教材費の一部について補助を行います。

補助の対象となる方

次の要件をすべて満たしている方

- 1：公立幼稚園、私立幼稚園、幼稚園型認定こども園（ただし、1号認定のみ対象）に通園している園児の保護者
- 2：1の園児及び保護者は、令和3年4月1日現在双葉町に住民登録をしていること

※対象となる可能性のある方全員に、6月以降個別に通知しますので、しばらくお待ちください。

※満3歳児保育も対象となりますが、誕生日の月から補助対象となります。下記問い合わせ先までご連絡の上、資料の請求をお願いいたします。

【問い合わせ先】 双葉町教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210

令和3年度 町税の免除、減免等について

双葉町では、東日本大震災及び原子力災害を受けた納税義務者等の納付すべき令和3年度の各税目について、次のとおり免除・減免をいたします。

○対象税目

個人町県民税、法人町民税、固定資産税、
軽自動車税、国民健康保険税

○個人町県民税（個人住民税）

令和2年中の所得により、下表のとおり減免となります。

※所得による減免基準は令和2年度と変更ありません。

令和元年中の合計所得金額 (目安の給与収入※1)	減免の割合
500万円以下（677万円）	10分の10
500万円を超え750万円以下 (677万円～945万円)	10分の5
750万円を超え1000万円以下 (945万円～1195万円)	4分の1
1000万円超（1195万円～）	10分の1

なお、合計所得金額は総合課税分及び分離課税分の合計、特に分離譲渡所得については特別控除前の額が合算されます。

※家屋被害認定調査の判定結果による、平成23～30年度分に遡っての納付済町県民税の税額（減免割合）変更（還付）はこれまでどおり行います。

※1 この表における目安の給与収入とは、給与所得以外の所得がない場合の金額です。

○法人町民税

東日本大震災及び原子力災害により休業等となった法人について、休業届の提出があった法人（令和3年1月から12月までに決算期を迎える法人に限る。）……均等割相当額の全額減免

○固定資産税

○土地、家屋に係るもの（町長が指定する区域以外にあるもの）……全額減免

○償却資産に係るもの（原子力災害により事業の用に供することができないもの）……申請により減免

○軽自動車税

○令和3年4月1日現在で、帰還困難区域に放置された、原動機付自転車、小型特殊自動車……当初より全額減免

○軽四輪車、二輪の小型自動車……申請により全額減免

○国民健康保険税

被保険者全世帯……全額減免

【問い合わせ先】

戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

◆◆ 6月1日は、人権擁護委員法が施行された日です ◆◆

昭和24年6月1日に人権擁護委員法が施行されたことにより、人権擁護委員制度が誕生しました。法務省及び全国人権擁護委員連合会は、人権擁護委員法が施行された日を記念して、毎年6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、6月1日を中心に、人権擁護委員が皆さまの町で特設人権相談所を開設して人権相談に応じたり、全国的な啓発活動を実施しています。

6月1日（火）に双葉町いわき事務所において、10時から15時まで特設人権相談所が開設されます。

相談は無料で、秘密は厳守します。困りごとや悩みごとなどお気軽にご相談ください。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催日時等を変更する可能性がございますので、お越しになる際は事前に最寄の法務局までご連絡ください。

また、「人権擁護委員の日」に限らず、電話相談を実施していますので、悩みごとがありましたら下記のダイヤルにお電話ください。

・みんなの人権110番 ☎ 0570-003-110
・子どもの人権110番 ☎ 0120-007-110

・女性の人権ホットライン ☎ 0570-070-810

令和3年度 軽自動車税納税通知書について

令和3年度の軽自動車税納税通知書を発送いたしましたので、お手元に届きましたら車両番号などの内容をご確認ください。

現金により納付される方は、コンビニエンスストアで納付できます。なお、納期限は5月31日(月)です。

【減免について】

※令和3年4月1日現在、避難指示区域内に放置された車両については、減免の対象となります。該当する方には、「軽自動車税減免申請書」を送付いたしますので、いわき事務所戸籍税務課までお問い合わせください。

※減免となった車両については、事務処理後に納税証明書を送付いたします。車検期間が間近になっている場合は、お早目にご連絡ください。

※平成23年3月12日以降に登録された車両を除く原付二輪・農耕用車両などの「双葉町」ナンバー及び250CC以下のバイクについては、すでに減免として取り扱っております。また、以前廃車の意向確認書をお送りさせていただき、まだお返事をいただけていない方につきましては、お早目にご連絡ください。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

令和3年度 自動車税種別割の定期課税のお知らせ

**納期限は
5月31日
(月)です**

自動車税種別割は、毎年4月1日午前零時現在で車検証上の所有者（割賦販売の場合は使用者）に課税されます。

令和3年度自動車税種別割の納税通知書は、5月7日（金）に発送する予定ですので、5月31日（月）の納期限までに忘れずに納付してください。

なお、避難先等へ郵便物の転送を希望される方は、最寄りの郵便局へ「転居届」の提出をお願いします。

【問い合わせ先】 相双地方振興局 県税部課税課 問税チーム ☎ 0244-26-1127

双葉町の行政相談委員について



武内 裕美さん
(いわき市居住・長塚二)

- 総務省では、双葉町を担当する行政相談委員として、武内裕美さんを委嘱しております。
- 行政相談委員は、総務大臣が委嘱した有識者で、地域住民の皆さんから国の行政全般に関する意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

【連絡先】 武内 裕美 ☎ 090-3980-2504
福島行政監視行政相談センター ☎ 024-534-1101

町職員の人事異動

令和3年4月1日付けで異動がありました。()内は旧職名等です。

◆新規採用職員

- ▽住民生活課 宮津健
- ▽健康福祉課 岡部玲奈
- ▽秘書広報課 武藤久実

◆昇格・昇任・異動

- ▽参事兼建設課長 猪狩浩 (建設課長)
- ▽健康福祉課長兼青年婦人会館長 高橋秀行 (戸籍税務課長)
- ▽議会事務局 大浦富男 (復興推進課長兼産業交流センター所長)
- ▽農業振興課長兼農業委員会事務局 相楽定徳 (生活支援課長)
- ▽戸籍税務課長 中里俊勝 (戸籍税務課・課長補佐兼管理徴収係長)
- ▽秘書広報課長 橋本靖治 (総務課・課長補佐兼管財係長)
- ▽教育総務課長 木幡勝 (住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長)

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽復興推進課長兼産業交流センター所長 横山敦 (復興推進課・課長補佐兼復興推進係長)
- ▽健康福祉課・主幹兼課長補佐兼国保年金係長 大浦寿子 (教育総務課・課長補佐兼総務係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 志賀寿三 (農業振興課・課長補佐兼農業振興係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長 高橋春枝 (健康福祉課・課長補佐兼賦課係長 鶴沼浩二 (出納室・課長補佐兼検査係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活環境係長兼婦町準備係長 石上崇

- ▽(戸籍税務課付・茨城県かすみがうら市派遣)
- ▽住民生活課・副主査 比佐和寛 (復興推進課・副主査)

◆課の組織変更による異動

- ▽住民生活課・主幹兼埼玉支所長 愛沢隆志 (生活支援課・主幹兼埼玉支所長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼生活支援・賠償対策係長 井上智成 (生活支援課・課長補佐兼総務係長兼生活支援係長)
- ▽住民生活課・副主査 大島由久 (生活支援課・副主査)
- ▽住民生活課・副主査 (郡山支所) 松本幸江 (生活支援課・副主査・郡山支所)
- ▽住民生活課・技能員 (埼玉支所) 白井明美 (生活支援課・技能員・埼玉支所)

- ▽建設課 佐々木次男
- ▽健康福祉課 吉田千賀男
- ▽農業振興課 櫻井清
- ▽教育総務課 山本葵
- ▽建設課 牧野珠美 (任期延長)
- ▽建設課 中澤由貴枝 (任期延長)
- ▽建設課 首藤郁夫 (任期延長)
- ▽建設課 島崎雄司 (任期延長)
- ▽住民生活課 (生活支援) 上遠野友見 (任期延長)
- ▽住民生活課 岡田浩寿 (任期延長)
- ▽戸籍税務課 志賀村綾乃 (任期延長)

- ▽再任用職員
- ▽住民生活課 松本信英 (任期延長)
- ▽秘書広報課 板倉幸美 (任期延長)
- ▽総務課付 舶来丈夫

- ▽健康福祉課 志賀公夫
- ▽教育総務課 橋本仁
- ▽農業振興課 志賀睦
- ▽住民生活課 鈴木健一

- ◆福島県派遣職員
- ▽建設課・総括主任技査 吉田有朋
- ▽農業振興課・主査 横田雅之
- ▽健康福祉課・主任保健師 岩瀬由美 (任期付・任期延長)
- ▽健康福祉課・主任保健師 家木真由美 (任期付・任期延長)

- ◆市町村等派遣支援職員
- ▽建設課 山口伸夫 (新潟県柏崎市)
- ▽教育総務課 古川勝太 (福井県敦賀市)
- ▽教育総務課 鈴木信俊 (茨城県北茨城市)
- ▽秘書広報課 砂川智哉 (茨城県東海村)
- ▽建設課 (復興推進課兼務) 佐藤友希 (宮城県女川町)
- ▽建設課 児玉淳司 (神奈川県)
- ▽総務課 渡部辰幸 (神奈川県)
- ▽建設課 前田健次郎 (神奈川県)
- ▽復興推進課 渡邊伸 (東京電力ホールディングス(株))

- ◆市町村等人事交流職員
- ▽戸籍税務課 樽見卓弥 (茨城県かすみがうら市) (期間延長)
- ▽茨城県かすみがうら市派遣 村上卓磨 (戸籍税務課・主事)
- ◆東北農政局派遣職員
- ▽農業振興課 荒木秀則
- ◆農林水産省・東北農政局応援職員
- ▽農業振興課 橋本弘 (期間延長)

- ◆退職職員 (令和3年3月31日付)
- ▽舶来丈夫 (参事兼健康福祉課長兼青年婦人会館長)
- ▽志賀公夫 (議会事務局)
- ▽橋本仁 (教育総務課長)
- ▽志賀睦 (農業振興課長兼農業委員会事務局)
- ▽鈴木健一 (秘書広報課長)
- ▽吉野高光 (教育総務課・総括主任主査兼生涯学習係長)
- ▽永山有紀子 (健康福祉課・主任保健師)
- ▽菅野理絵 (健康福祉課・保健師)
- ▽任期付職員
- ▽武藤久実 (生活支援課・専門員)
- ◆派遣期間の終了
- ▽福島県派遣職員
- ▽佐藤照智 (農業振興課・主査)

- ▽市町村等派遣支援職員
- ▽原電也 (新潟県柏崎市) (建設課 (復興推進課兼務)・主任技査)
- ▽大坂知也 (富山県黒部市) (秘書広報課・副主査)
- ▽浅妻瞬 (福井県敦賀市) (教育総務課・主査)
- ▽吉田千賀男 (茨城県北茨城市) (教育総務課・主査)
- ▽櫻井清 (茨城県かすみがうら市) (農業振興課・主査)
- ▽松永善行 (神奈川県) (建設課・主任技査)
- ▽復興庁応援職員
- ▽仲丸恵理 (健康福祉課 (生活支援課兼務・郡山支所))

- ▽健康福祉課 志賀公夫
- ▽教育総務課 橋本仁
- ▽農業振興課 志賀睦
- ▽住民生活課 鈴木健一

- ◆福島県派遣職員
- ▽建設課・総括主任技査 吉田有朋
- ▽農業振興課・主査 横田雅之
- ▽健康福祉課・主任保健師 岩瀬由美 (任期付・任期延長)
- ▽健康福祉課・主任保健師 家木真由美 (任期付・任期延長)

- ◆市町村等派遣支援職員
- ▽建設課 山口伸夫 (新潟県柏崎市)
- ▽教育総務課 古川勝太 (福井県敦賀市)
- ▽教育総務課 鈴木信俊 (茨城県北茨城市)
- ▽秘書広報課 砂川智哉 (茨城県東海村)
- ▽建設課 (復興推進課兼務) 佐藤友希 (宮城県女川町)
- ▽建設課 児玉淳司 (神奈川県)
- ▽総務課 渡部辰幸 (神奈川県)
- ▽建設課 前田健次郎 (神奈川県)
- ▽復興推進課 渡邊伸 (東京電力ホールディングス(株))

- ◆市町村等人事交流職員
- ▽戸籍税務課 樽見卓弥 (茨城県かすみがうら市) (期間延長)
- ▽茨城県かすみがうら市派遣 村上卓磨 (戸籍税務課・主事)
- ◆東北農政局派遣職員
- ▽農業振興課 荒木秀則
- ◆農林水産省・東北農政局応援職員
- ▽農業振興課 橋本弘 (期間延長)

- ◆退職職員 (令和3年3月31日付)
- ▽舶来丈夫 (参事兼健康福祉課長兼青年婦人会館長)
- ▽志賀公夫 (議会事務局)
- ▽橋本仁 (教育総務課長)
- ▽志賀睦 (農業振興課長兼農業委員会事務局)
- ▽鈴木健一 (秘書広報課長)
- ▽吉野高光 (教育総務課・総括主任主査兼生涯学習係長)
- ▽永山有紀子 (健康福祉課・主任保健師)
- ▽菅野理絵 (健康福祉課・保健師)
- ▽任期付職員
- ▽武藤久実 (生活支援課・専門員)
- ◆派遣期間の終了
- ▽福島県派遣職員
- ▽佐藤照智 (農業振興課・主査)

- ▽市町村等派遣支援職員
- ▽原電也 (新潟県柏崎市) (建設課 (復興推進課兼務)・主任技査)
- ▽大坂知也 (富山県黒部市) (秘書広報課・副主査)
- ▽浅妻瞬 (福井県敦賀市) (教育総務課・主査)
- ▽吉田千賀男 (茨城県北茨城市) (教育総務課・主査)
- ▽櫻井清 (茨城県かすみがうら市) (農業振興課・主査)
- ▽松永善行 (神奈川県) (建設課・主任技査)
- ▽復興庁応援職員
- ▽仲丸恵理 (健康福祉課 (生活支援課兼務・郡山支所))

- ▽健康福祉課 志賀公夫
- ▽教育総務課 橋本仁
- ▽農業振興課 志賀睦
- ▽住民生活課 鈴木健一

- ◆福島県派遣職員
- ▽建設課・総括主任技査 吉田有朋
- ▽農業振興課・主査 横田雅之
- ▽健康福祉課・主任保健師 岩瀬由美 (任期付・任期延長)
- ▽健康福祉課・主任保健師 家木真由美 (任期付・任期延長)

- ◆市町村等派遣支援職員
- ▽建設課 山口伸夫 (新潟県柏崎市)
- ▽教育総務課 古川勝太 (福井県敦賀市)
- ▽教育総務課 鈴木信俊 (茨城県北茨城市)
- ▽秘書広報課 砂川智哉 (茨城県東海村)
- ▽建設課 (復興推進課兼務) 佐藤友希 (宮城県女川町)
- ▽建設課 児玉淳司 (神奈川県)
- ▽総務課 渡部辰幸 (神奈川県)
- ▽建設課 前田健次郎 (神奈川県)
- ▽復興推進課 渡邊伸 (東京電力ホールディングス(株))

職員紹介



山口 伸夫
(柏崎市)



鈴木 信俊
(北茨城市)



古川 勝太
(敦賀市)



砂川 智哉
(東海村)



児玉 淳司
(神奈川県)



佐藤 友希
(女川町)

【市町村等派遣職員】



岡部 玲奈



宮津 健

【新規採用職員】



武藤 久実



荒木 秀則

【東北農政局】



横田 雅之

【福島県派遣職員】

令和3年度 双葉町社会教育委員 委嘱状交付式

4月8日、いわき事務所において委嘱状交付式が行われました。

令和3年度双葉町社会教育委員名簿 (令和3年4月1日～令和5年3月31日)

No.	区 分	氏 名	備 考
1	学識	江 井 俊 雄 委員	再 任
2	社会教育	浜 田 貞 子 委員	再 任
3	社会教育	熊 豊 子 委員	再 任
4	社会教育	谷津田 敬子 委員	再 任
5	学識	高倉 さだ子 委員	再 任
6	町立学校長代表	大 沼 俊 之 委員	新 任
7	社会教育	大 西 敏 彦 委員	新 任



令和3年度 双葉町復興支援員（ふたさぼ）を紹介します

▼ 宮本真澄

▼ 木幡友紀恵



▲ 前林菜美

▲ 森文香

▲ 平澤麻美

4月1日、伊澤史朗町長から5人に委嘱状が交付されました。

今後、復興支援員（ふたさぼ）が新たに加わった場合は、広報ふたばやコミュニティ情報紙ふたばのわでお知らせします。

【問い合わせ先】

秘書広報課

☎ 0246-84-5202

（広報支援）

住民生活課（生活支援・賠償対策係）

☎ 0246-84-5419

（コミュニティ支援）

JAスマイル大正琴 演奏会 ～双葉町産業交流センター～



3月28日、双葉町産業交流センターにおいて双葉町芸術文化団体連絡協議会主催の芸能発表が行われ、JAスマイル大正琴の皆さんが「高原列車は行く」「リンゴの唄」「珍島物語」「八木節」の4曲を披露しました。途中、メンバーの方が縫製したという色鮮やかな衣装を羽織り演奏された皆さん。遠方より訪れた来場者は澄んだ音色に聞き入っていました。

*** 双葉ふれあいクラブからのお知らせ ***

第7回双葉町民交流パークゴルフ大会を6月開催で予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、秋頃まで開催を延期することといたしました。

開催日時等が決まりましたらお知らせいたします。

フタバハロウィン仮装大会（仮）中止のお知らせ

広報ふたば2月号の同封チラシでお知らせしました、令和3年10月30日（土）開催予定の「フタバハロウィン仮装大会（仮）」は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み中止することといたしました。

今後婚活イベント等を実施することとなった場合は、再度参加の募集を実施いたします。

【問い合わせ先】 教育委員会教育総務課 生涯学習係 ☎ 0246-84-5210

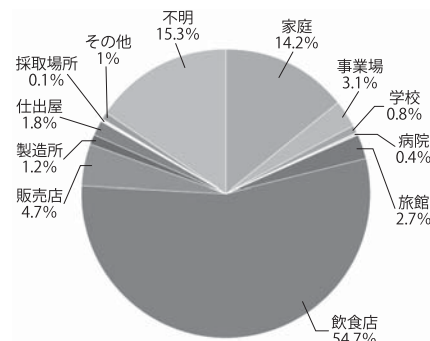
食中毒と熱中症の予防について

食中毒に気をつけましょう

5月から9月は湿度や気温が高く、細菌が増えやすいため細菌性の食中毒が増加します。食品の衛生的な取り扱いを心がけ、食中毒予防のための3原則を守り、安全で楽しい食生活を送りましょう。

◆ 家庭での食中毒発生件数は第2位

食中毒というと、レストランなどの飲食店での食事が原因だと思われがちですが、家庭の食事が原因となる場合も約10%を占めています。ただ、家庭では発症する人数が少なかったり、症状が軽いいため風邪などと思われがちで、食中毒とは気づかれずに重症化することもあります。症状がある時は、かかりつけ医を受診し相談することが大切です。



令和元年原因施設別事件数
出典：政府広報オンライン（厚生労働省資料）

◆ 食中毒を防ぐ3原則

つけない

台所の掃除、調理前には手や調理器具を十分に洗い、食材に細菌がつかないようにしましょう。

増やさない

食中毒菌の多くは、高温多湿な環境で増殖が活発になります。食品はなるべく10℃以下の低温で保存しましょう。

やっつける

ほとんどの細菌やウイルスは加熱で死滅します。特に、肉料理は中心部を75℃で1分以上加熱しましょう。

～ テイクアウトやデリバリーの商品にも注意が必要です ～

テイクアウトやデリバリーでは、調理してから食べるまでの時間が長く、食中毒のリスクが高まります。購入した食品は長い時間置かずに、できるだけ早目に食べましょう。また、すぐに食べられない時は、10℃以下で保冷するなど注意しましょう。

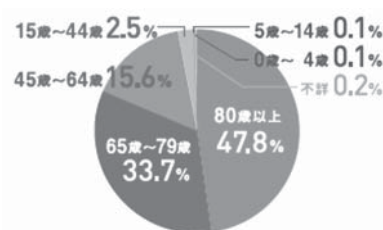
熱中症対策と脱水予防について

梅雨前後の暑さに慣れていないこの時期は、熱中症になりやすく、特に、高齢者や子ども、障がい者の方は注意が必要です。暑さを避ける生活を意識、水分補給を適宜しましょう。

◆ 熱中症について

熱中症による死亡者の約8割が高齢者です。また、高齢の方の熱中症の発生場所は半数以上が自宅、若い世代の方は屋外での作業中や運動中という統計になっています。高齢者は自宅を涼しく、若い世代は屋外での作業中や運動中に注意が必要です。

■ 年齢別／熱中症死亡者の割合



出典：「熱中症における死亡数
人口動態統計2018年」厚生労働省

◆ 暑さを避けるポイント

- ・エアコンを利用するなど室内の温度管理をする。
- ・日傘や帽子を使用したり、涼しい服装にする。
- ・暑い日や日中の暑い時間帯の外出は避ける。
- ・マスクは熱がこもりやすいため適宜外す。

◆ 水分補給のポイント

- ・のどが渇く前にこまめに飲む。
- ・1日1～1.5ℓを目安にする。
- ・大量に汗をかいたときは塩分補給もする。
- ・アルコール類は水分補給にはなりません。

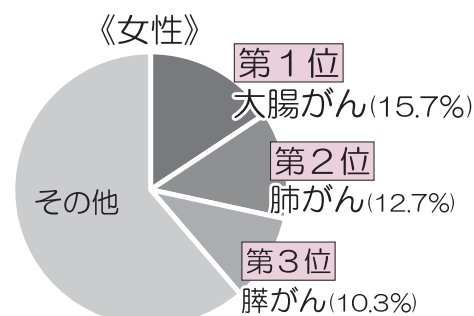
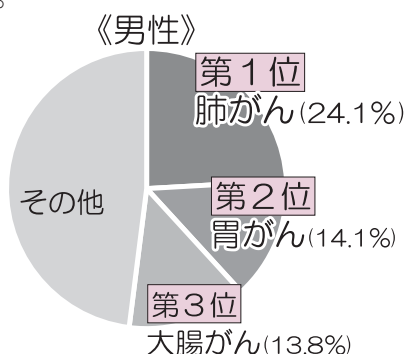
参考：政府広報オンライン「食中毒を防ぐ3つの原則・6つのポイント」、農林水産省HP「食中毒が多い季節は？」
環境省「熱中症予防行動」、「熱中症×コロナ感染防止で新しい生活様式を健康に！」

肺がん・結核健診を受けましょう

● **検査内容** 胸のレントゲン検査です。また、肺がん検診では喫煙指数の高い方に喀痰細胞診検査もします。

◆ **肺がんは、がんの死亡原因で男性は第1位、女性は第2位です！**

男女合計の死亡者数では、一番多いがんになっています。早期の肺がんは、症状が出ることはほとんどありません。また、たばこを吸う方は肺がんになるリスクが2～5倍になるため注意が必要です。



出典：平成30年人口動態統計（確定数）の概況（福島県）

◆ **結核は、今でも年間15000人に以上発生し、約2000人が命を落としている感染症です。**

長引く咳やたん、微熱、体のだるさなどの症状がある場合は早目に医療機関を受診し、定期的な結核健診で早期発見することが大切です。

～ 禁煙にチャレンジしましょう ～

たばこは、がん、循環器疾患、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、糖尿病などのさまざまな病気の原因となります。そして、喫煙者が新型コロナウイルス感染症にかかると、酸素投与や呼吸器管理が必要になるほど重症化する危険性が、非喫煙者と比べると1.15倍～2.4倍という研究報告があります。喫煙習慣が長ければ長いほど禁煙することへの苦勞が伴います。自分の意思でたばこを止められないときは、医療機関の禁煙外来を利用するのも一つの方法です。

参考：東京都医師会HP「新型コロナ時代における禁煙推進の重要性」、福島県保健衛生協会HP「がん検診のご案内」、「がん検診あなたを守る新習慣」
厚労省HP「元気ですか？肺～結核健診を受けましょう～」

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

令和3年度婦人がん検診の受診録の送付を始めます

県内にお住いの双葉町の女性の皆さんで婦人がん（子宮がん検診は20～84歳の女性、乳がん検診は40～84歳の女性）の検診を申込されたみなさまへ受診録の送付を始めます。

	検診日	地 区	種 類	受診録の発送予定
①	5/1～10/31	いわき市	医療機関検診 子宮がん（いわき市・双葉郡）	令和3年4月20日頃 受診録、ご案内を送付します
②	10月中の検診	①③以外	①③以外の子宮がん検診と 乳がん検診	9月上旬から10月上旬 検診日の約2週間前までの予定
③	11/1～12/14	南相馬市	医療機関検診 子宮がん（南相馬市）	10月上旬 検診日の約2週間前までの予定

婦人がん検診を申し込みの方で、受診録が届かないときは下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

● ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種 対象者の皆さまへのお知らせ ●

厚生労働省よりヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の対象者^{*}とその保護者の皆さまへの情報提供がありましたので、お知らせします。

※対象者：12歳となる日の属する年度の初日から16歳となる日の属する年度の末日までの間にある女子。

- ・公費で接種できるワクチンの1種である
- ・定期接種を受ける際には、医療機関において、ワクチン接種の有効性および安全性等について十分な説明を受けたうえで、希望者が接種を受けるものである

ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種に関するお問い合わせがある場合、下記までご連絡ください

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

広報ふたば4月号掲載の「小児の任意予防接種の接種費用の助成」のお知らせの一部訂正

訂正前	予防接種の種類（時期）	対象者
	おたふくかぜ（通年）	1歳以上

とお知らせしましたが、正しくは

訂正後	予防接種の種類（時期）	助成対象者
	おたふくかぜ（通年）	満1歳以上7歳未満の者（ただし小学校就学前まで）

です。お詫びして訂正いたします。

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

総務省からの
お知らせ

**6月1日～10日は
「電波利用環境保護周知啓発強化期間」です**

電波は、ルールを守って正しく使いましょう。

電波の混信・妨害についてのお問い合わせは

〒980-8795 仙台市青葉区本町3-2-23

総務省 東北総合通信局 相談窓口 ☎022-221-0641

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/>



デンパ君

消防署からのお知らせ



林野火災・枯草火災にご注意

この火災の原因の多くは、不注意によるものです。風が強く空気が乾燥し、火災が起きやすいこの時期は、特に注意しましょう。

林野火災・枯草火災を予防するための留意点

- ❶ 枯れ草など燃えやすいものがある場所では、たき火をしない。
- ❷ たき火など火を使用しているときは、その場を離れず、**使用後は完全に消火**する。
- ❸ **風が強い日**や**乾燥している日**は、たき火や野焼きをしない。
- ❹ 火入れを行う場合は**市町村役場**に連絡すること。
- ❺ たばこは指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消し、投げ捨てない。
- ❻ 火遊びはしない。

もし、火災を見つけたら・・・

燃え広がった火災を無理に消そうとするのは大変危険です。

出火して間もない段階でも消火に失敗したら、火や煙に巻かれないよう**身の安全を確保**して、直ちに**119番通報**してください。



火事と救急は119番 <消防署連絡先> ・浪江消防署 ☎0240-34-4111
・富岡消防署 ☎0240-22-2119

2021年度 国家公務員「税務職員採用試験」(高校卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。

国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか？

○受験資格

1. 令和3年4月1日において高校卒業後3年を経過していない者及び令和4年3月までに高校を卒業する見込みの者
2. 人事院が1に掲げる者に準ずると認める者

○受験申込受付期間

令和3年6月21日(月)から6月30日(水)まで

○受験申込方法

受験申し込みはインターネット申し込みとする。

国家公務員試験採用情報NAV I
(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)

○第1次試験日

令和3年9月5日(日)



【試験に関する問い合わせ先】 仙台国税局人事第二課試験研修係 ☎022-263-1111 内線3236
人事院東北事務局 ☎022-221-2022

双葉町社会福祉協議会

～ 5月 健康運動教室・サロン開催のお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)	①第1、3木曜日 ②第2、4水曜日 ③第2、4木曜日 のいずれか	13:30～15:00	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
福島市老人福祉センター 2階研修室 (福島市仁井田字八ツ割川原3)	5月11日(火)		
双葉町役場南相馬連絡所 1階会議室 (南相馬市原町区青葉町2-62-2)	毎週水曜日 ※祝日を除く	① 9:30～11:00 ② 13:30～15:00 のいずれか	南相馬出張所 ☎ 080-5730-1166

● 社協サロン

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
白河市中心老人福祉センター会議室 (白河市北中川原313)	5月18日(火)	10:00～11:30	郡山事務所 ☎ 024-973-5291

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇ 中間貯蔵工事情報センターについて

▶ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。

5月は、14日(金)、29日(土)を予定しています。見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター(☎0240-25-8377)までお願いします。

◇ 輸送について

双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。

・2021年度は、30,098^{m³}搬入しています。(2015年からの累計は3,008,580^{m³})

▶ 4月29日～5月5日までの期間は、輸送を休止いたします。

※4月12日現在

◇ 環境安全委員会について

3月26日に福島県、双葉町及び大熊町等の委員からなる中間貯蔵施設環境安全委員会(第19回)が開催され、工事や輸送の状況等について報告しました。

引き続き安全確保に努めて中間貯蔵施設事業に取り組んでまいります。

◇ 放射線モニタリングについて

▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)のHPで公表しております。

(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎ 024-563-1293



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」

福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ



就職相談 あなたの「働きたい」をサポートします！

「応募までの一歩が踏み出せない」「自分の強みやアピールポイントがわからない」「早く就職するために計画的に進めたい」「たくさん応募しているのに採用されない」こんな困りごとはありませんか？

就職活動の進め方やハローワークの活用方法など、相談員がさまざまなアドバイスを行います。

あなたのサポーターがここにいます！



- 電話…フリーダイヤル ☎ 0120-810-650 受付時間：平日9時～12時、13時～16時30分
- メール…ホームページ（<https://fkkoyou.net/>）の専用フォームから24時間受付中
- 窓口…※予約制（フリーダイヤルにお問い合わせください）

【求職者向け】職場体験実習 “大人のインターンシップ” 参加者大募集！

就職活動に一歩が踏み出せず不安、未経験の職種にチャレンジしてみたいけれど自分に合うかわからない…。そんな方、必見！！ 県内594事業所で、さまざまな業種の中から、興味のあるお仕事を体験できるチャンスです。求人票だけではわからない仕事の内容や職場の雰囲気を、自分で「見て！聞いて！やってみる！」そんな体験型の就職活動はいかがですか。是非お気軽にお問い合わせください。

お申し込み 随時受付中！

- 体験期間：1～3日
- 体験時間：体験先の所定労働時間内（8時間以内）
- 体験先：職場体験実習登録事業所
- 体験内容：会社見学や事業説明、簡単な業務体験など

【問い合わせ先】 ホームページ 働きたいネット で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口（福島市中町4番20号 みんなビル202号）
☎ 024-524-2121 FAX 024-524-2125



「共同配送参加事業者」を募集

現在、大手物流会社の路線便が、双葉町内において停止したままであることから、町内で事業活動している事業者が共同で運送会社へ依頼し、町内まで荷物を届けてもらう取り組み（共同配送）を行っています。この共同配送に参加を希望する事業者を募集しています。

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|----------------------|
| ▼対象者 | 路線便による荷物が届かない
町内の事業者 | ▼利用料 | 利用頻度や荷物量に応じて
算定 |
| ▼募集期間 | 随時 | ▼運行頻度 | 4トントラック、週5日
(月～金) |
| ▼取扱荷物 | 路線便で運べるもの | | |

【問い合わせ先】

公益社団法人 福島相双復興推進機構 ☎ 024-502-1117（平日9:00～17:00）

*** 三字行政区からのお知らせ ***

3月中に行いました令和2年度総会の書面議決の結果について、お知らせいたします。
書面表決書をご返送いただいた方は、皆さん全議案に賛成でした。
よって、上程した議案は、いずれも原案のとおり可決されました。
以上、ご報告申し上げます。 三字行政区長 伊澤 和夫



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

【随想】 闇の中に

一縷の光を求めて

「新型コロナウイルス」が世界中でまん延し、医療関係者の方々の努力で「ワクチン接種」など努力を継続されており、収束の傾向は未だ現れず「緊急事態宣言」に至っている状況です。

日本国内でも東京・大阪などの大都市圏では、感染者の増加は止まらず、「油断禁物」の状況でございます。

我が国でも、間もなく高齢者等から順番に「ワクチン接種」が開始されますが、全てのワクチンが外国製であり、血栓症の発生など副作用には一縷の不安がありますので、緊急事態として捉え、「ワクチンの国産化」を目指し国内の製薬企業が「共同企業体」を結成し、「新型ワクチン」の製造・販売を開始すべきと考えております。開発に要する経費はすべて政府が負担し、国産化が成功されますように念願しております。

ワクチン担当大臣河野太郎氏の活躍に期待しており、そこに「一縷の光」を実感しております。

令和3年4月 古室 仁（浜野）

ご本人の希望により原文のまま掲載しております。



人のうごき3月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
佐々木しの	3月18日	祐馬・千尋	三字

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
古山 正	93	2月28日	長塚一
高木 勝年	77	3月4日	長塚一
高田 國男	94	3月10日	長塚一
齋藤フデ子	94	3月17日	下条
朝川 洋一	81	3月22日	渋川

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎0246-84-5202

双葉町民の避難状況（令和3年3月31日現在）

- ・福島県内に避難されている方 4,010人
- ・福島県外に避難されている方 2,780人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

【文芸】

俳句・春長けて 畑打つ農夫 姿あり

・ 風に舞い ひらひら散りて 花筏

川柳・残月や 今日の晴れをば 物がたる

・ 3.11 涙で手合わす 2.46 異郷の地

短歌・緑風^{かぜ}呑んで 青空高く 泳ぐ鯉

元気に育て 親この祈り

今泉 禮子（長塚二）



広報紙の発送について

「広報ふたば」「ふたばのわ」は、1居所につき1部送付しています。

ご家族が別々の場所に引っ越された場合や、同居することになった場合など、広報紙の発送に関することは下記までご連絡ください。

なお、「広報ふたば」「ふたばのわ」の発送先となっている方がお亡くなりになられた場合については、1カ月程度後に発送を中止いたしますが、ご家族の方に発送先を変更することも可能です。下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0246-84-5202

避難先を移動された方へ

避難先を移動された方は「避難住民届」を提出してください。

※移動先の届出がないと、町からの広報紙、各種通知などの郵便物が届かなくなりますのでご注意ください。

【問い合わせ先】

戸籍税務課 ☎0246-84-5204

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第97号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202



妻・チヅ子さんとともに

おおくぼ よしまる
大久保 吉丸 さん

(山田)



●避難先●

福島県いわき市

夏の暑さと初めての団地暮らし

約7年間、埼玉県内で過ごし、加須市内の避難所を経て、うち4年ほど熊谷市内の県営住宅に入居しました。夏は国内上位の最高気温を記録する暑さ、冬になると空気が乾燥し強風が吹く気候の中、住宅にはエレベーターがなく、5階にある住居まで階段を昇り降りする生活となりました。足腰の痛みや負担を感じつつも何とか乗り切ることができたのは、長年の百姓仕事で、体が鍛えられてきたからかもしれません。

往復600キロの家路

震災当時、すでに後期高齢者といわれる年齢となっていました。支障なく自動車を運転できたため、一時帰宅制度が始まってから、自らハンドルを握り自宅を訪れています。軽トラックで熊谷市と双葉町の間を何度も往復するのは疲れましたが、草木が生い茂り姿が変わってしまったとはいえ、屋敷内に足を踏み入れると、多少、気持ちが和らぐようでした。

地域の交流と日常に近い生活

避難でお世話になっていく地域の皆さんとの交流を通して、何もできず先の見えないう日々への不安解消に繋がればと思います。加須市シルバー人材センターに会員登録しました。庭の手入れや草刈りなどの作業に従

事しましたが、真夏の炎天下でも、水分補給と熱中症に注意しながら汗を流すと、少なからず日常に近い生活に戻れたと感じられました。

少しでも故郷の近くに

年単位の避難生活で、加須市周辺に自宅を建てる方も多くなりましたが、私の場合、故郷から離れ全く違う環境に住み続けようとは考えられず、せめて、福島県内で生活できればと思っていたため、復興公営住宅勿来酒井団地の入居者募集に応募し、平成30年春から生活しています。

こちらに移って3年が過ぎましたが、周囲を田畑に囲まれ海風を感じることもでき、常磐自動車道を経由すれば1時間程度で故郷に行くことができます。庭付きの戸建て住宅のため、小さいですが家庭菜園を造り、季節の野菜を楽しんでいます。また、震災後、親戚や子どもたちに預けていた愛犬を引き取り、朝晩、周辺を散歩しています。

一難去って、また一難

故郷に近くなったのも束の間、新型コロナウイルス感染拡大で、子どもや孫、知人や友人に会うことも難しくなっていました。しかし、健康に気をつけて生きていければ、またいつか良いことがあるだろうという希望だけは持ち続けたいと思います。

今月のベストスマイル



双葉町産業交流センターで左から橋本優子さん（長塚一）、大橋正子さん（細谷）、永井實智子さん（長塚二）の笑顔です。

編集後記

今月の表紙は、3月25日にJＲ双葉駅東口、駅前広場で開催された東京2020オリンピック聖火リレーでの一場面です。当日はいわき事務所周辺では大雨となるなど天候が心配されましたが、双葉町では雨も降らず天候に恵まれ無事に聖火を繋ぐことができました。この日は風が強かったため少々肌寒く感じましたが、以後暖かい日が続く、今年の桜の開花は例年より1週間程度早かったようです。今年もコミュニティ情報紙ふたばのわや双葉町公式YouTubeチャンネル（動画）で町内の桜の様子をお届けします。是非ご覧ください。

14頁に交通安全グッズの寄贈の記事を掲載しております。夜道で自分が歩いているときには気付きませんが車を運転していると反射材を身に付けている人とそうでない人は運転手からの見え方に差があります。コロナ禍で人が多い時間を避けて健康のために歩いて外出することも多いため、気を付けたいと思います。



連絡先

- **いわき事務所**
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp
- **郡山支所**
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp
- **埼玉支所**
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp
- **コミュニティセンター連絡所（午前9時～午後4時）**
〒979-1471
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西39-22
☎ 0240-23-0051
FAX 0240-23-0052
- **南相馬連絡所（午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分）**
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2
☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277
- **つくば連絡所（月・火・水 午前9時～午後5時）**
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟
☎/FAX 029-854-7511

- **双葉町公式ホームページ**
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
- **双葉町公式YouTubeチャンネル**
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

- **双葉町復興ポータルサイト**
<https://www.futaba-fukkou.jp/>
- **双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」**
<https://futabanowa.wordpress.com/>

